

ふう けい き こう

風景紀行

飛驒の匠

伝説の里～天生

80

飛驒森林管理署
(各署の景勝地等を紹介)

岐阜の宝もの

天生県立自然公園

岐阜県の北部、大野郡白川村と飛驒市河合村にまたがる天生（あもう）峠。一年の半分近くを雪に閉ざされるこの峠は泉鏡花の小説「高野聖」にもその名が登場します。

天生県立自然公園には、高山植物が咲き乱れる標高一、四〇〇以上の高層湿原や広大なブナの原生林、神秘的なカツラの巨木などがあり、雄大で深淵（しんえん）



ミズバショウ

んな自然を体感することができます。雪解けの六月初旬から初秋まで花が絶えることがないのが天生の大きな魅力です。なかでも天生高層湿原や溪畔林では、春から初秋にかけて一面お花畑となります。春にはミズバショウ、ザゼンソウのほか、サンカヨウ、キヌガサソウ、タテヤマリンドウ、ツバメオモト、ムラサキヤシオツツジなどが、夏は、ニッコウキスゲやワタスゲ、ワレモコウなどが可憐な花を咲かせます。



キヌガサソウ



タテヤマリンドウ

また、秋にはブナやカツラ、ナナカマドの見事な紅葉が訪れる人を魅了します。各探勝路を抜け、粉糠（もみぬか）分岐を抜けると標高一、七四四以上の、その名のとおり粉糠が積もったような粉糠山があります。



ブナ林



匠祭り

◆飛驒の匠のおこり〜匠神社

約千四百年前の飛鳥時代に活躍した「止利仏師（とりぶつし）」が、幼少期に過ごした屋敷が、匠神社のある地と伝えられています。止利仏師は名工として知られ、法隆寺の釈迦三尊像にも名前が刻まれているほどであります。毎年十月になると止利仏師を偲んで、匠祭りが行われています。

◆森林環境協力金について

天生県立自然公園内では貴重な自然環境を保護保全していくため、入山者のご理解の下、協力金（五百円）を頂き、自然公園内の環境保全対策や森林監視パトロール等の普及啓蒙活動に役立てています。



カツラ門

◆アクセス

（所在地）岐阜県飛驒市・白川村

○車をご利用の場合

JR高山本線の飛驒古川駅から車で約五十分。河合町小無雁地区の河合橋を渡り、国道360号を道なり、白川郷方面へ。河合橋から車で約三十分です。

夏と秋の登山シーズンには地元バス会社によるシャトルバスが運行されています。

○その他

国道360号線冬期通行止（十一月中旬〜五月下旬予定）